

サバイバルへの道

あわてることなく適切な行動をとるための、心構えと予備知識をレクチャーします。「自分だけは大丈夫」、なんてはずはありません。自分と家族と周りの人たちを守るためには、勉強も必要です。



(写真/阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター(神戸市)提供)

地震がやってきた! どうすればいい?

地震から身を守るには



「大きな地震では、これさえ守れば大丈夫」…という完璧なルールはありませんが、地震時の様子をしっかりと見て、状況を正しく把握し、適切な行動を選択できるように、基本の対処法を知っておきましょう。

地震が起こった時の基本5カ条

その1 まずは自分の身の安全を守りましょう。

丈夫な机やテーブルなどの下にもぐり、机などの脚をしっかりと握りましょう。また、頭を座布団などで保護して、揺れがおさまるのを待ちましょう。

姿勢は低く
頭を守って
動かない!



その2 家具や棚の上の物が落ちてくるかもしれないので、家具などから離れて揺れがおさまるのを待ちましょう。

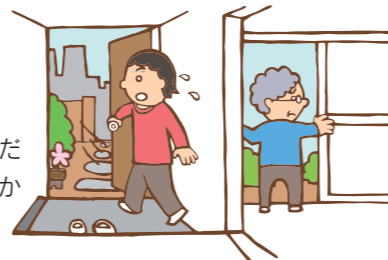
座布団やカバン、大判の本で頭を守ります。家具の転倒防止対策をしておきましょう。



その3

戸を開けて、出入口の確保をしましょう。

揺れて、出入口がゆがんだり、ひずんだりして、扉が開かなくなることがあります。



その4

あわてて、家の外に飛び出さないようにしましょう。

瓦やガラス、看板などの落下物があるかもしれません。



その5

門や扉、自動販売機やビルのそばに近づかないようにしましょう。

倒れたり、物やガラスが落ちてくる危険があります。



自宅編

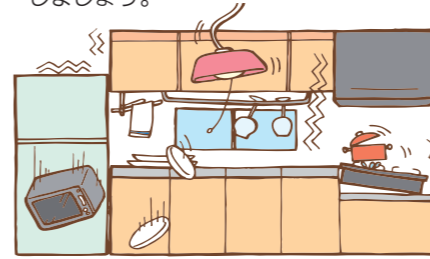


ぐらりっ 一般住宅の場合

出入口が開かなくなるおそれがあるので、揺れの合間をみてドアや窓を開けましょう。

台所 テーブルなどの下に入って身の安全を確保

コンロを使っている場合、ムリをして火を消しに行くのは危険です。コンロの近くから離れ、揺れが収まったら火を消しましょう。



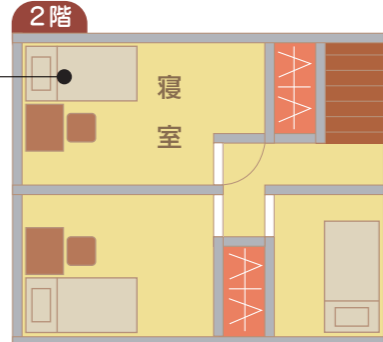
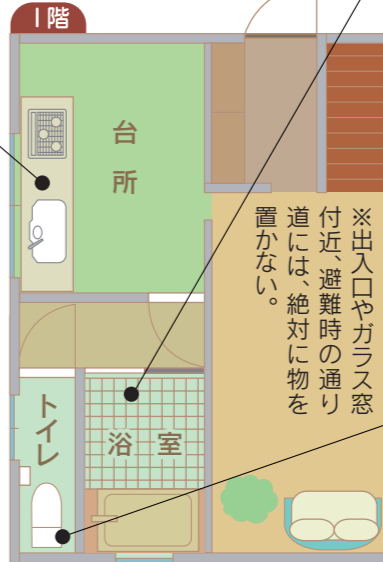
寝室 ベッドの下に入るか、布団をかぶり身の安全を確保

揺れて目が覚めたら寝具にもぐりこむか、できればベッドの下に入り、身の安全を確保しましょう。



家の周囲 屋根からの落下物に注意

崩れそうな塀、落ちそうな植木鉢・プランターなどに注意しましょう。



浴室 ドアを開けて、脱出路を確保

まずドアを開けて、脱出路を確保してから揺れが収まるのを待ちましょう。ボイラーの火は消します。浴そうの中では風呂のフタなどをかぶり、頭部を守りましょう。



トイレ ドアを開けて、脱出路を確保

比較的 안전한場所といわれています。ドアを開けて出口の確保をした後、揺れが収まるのを待ちます。



高層マンションの場合

高層階では、一般住宅よりも揺れが大きくなることがあるので注意しましょう。

- 非常口の確認をしておきましょう。
- 一般住宅よりも、水をためておく習慣が必要です。地震後にエレベーターが使えなくなることがあるかもしれません。断水となったとき、給水車が着く1階まで往復するのは大変です。



松山を襲った地震

平成13年(2001)の芸予地震

愛媛と広島の間広がる安芸灘の地下で起こる芸予地震。2001年3月24日に発生した芸予地震は、震源の深さ46km、マグニチュード6.7の規模で、西日本の広範囲に渡って揺れを感じました。

松山をはじめ愛媛県の多くの地域で震度5強、広島県の一部で震度6弱と、この地域では近年にない大きな揺れでしたが、同じ直下型地震の兵庫県南部地震(震源の深さ16km、マグニチュード7.3、災害名:阪神・淡路大震災)と比べると、マグニチュードが小さかったことと震源が深かったため、地震規模の割に被害が少なかったといえるでしょう。

愛媛での被害は、死者1名、負傷者75名。住宅被害は全壊2棟、半壊40棟、一部破損は1万1,196棟。停電・断水・携帯電話がつか

がりにくいといったライフラインの混乱が起これ、避難生活を余儀なくされた住民も出ました。

屋根瓦がずり落ちたり窓ガラスが破損・落下したりするなど、住宅被害は大きく、松山市内でも、軽い液状化現象が現れた所もありました。

南海トラフ地震のエネルギーは芸予地震の比ではなく、真剣に地震対策に取り組むことが求められています。



伊予地区における屋根瓦の損壊状況(ブルーシートによる応急処置)